

第4節 構想のまとめ

1 相手の構想を制約する

A) 優先する目標

優先1 構想を阻止する戦略

「構想の阻止」とは、自分の石が取られないことを前提に、相手の構想を互いに阻止する戦略である。

優先2 手抜き、反撃の阻止

石を取る能力によって、相手の手抜きや反撃を阻止し、効率のいい地を邪魔されずに囲うことができる。

優先3 大場、好点への先行

「構想力」で必要な能力は手抜きできるかの能力であり、手抜きしても石が取られるかの判断力である。手抜きできる場合は、大場、好点への先行が可能になる。

B) 戦略、戦術

① 捨てられない石を狙う。

石には、「取られると困る石」と「取られても困らない石」がある。取られては困る石を攻める。

② 相手に手抜きさせない。

相手に守らせる、受けさせる、反撃させる、など相手が必ず受ける手順を見つける能力が棋力になる。

- ③ 生き難くする。
生きた石は、攻めることができない。戦略や構想では相手の弱い石を見つけ、生き難くさせる工夫が必要となる。
- ④ 戦いながら地を囲う。
地を単純に囲うのではなく、戦いながら相手に手抜きさせない状態で地になるように手順を考える。
- ⑤ 相手を小さく生きさせる。
相手に小さく地を囲わせることで、自分の石を安全に強くすることができる。
- ⑥ 小さく地を囲わせる。
地を減らす手を打つと反発される危険があり、後手になることが多い、このため、相手に小さく地を囲わせることで、自分の石を強くする。
- ⑦ カス石を取らせる。
石は逃げると重くなり、戦略や構想に制限がかかることになる。このため、役目の終わった石は、相手に取らせる。
- ⑧ 相手に攻めるチャンスを与えない。
効率は攻めることから生まれている。このため、相手に攻めるチャンスを与えないように用心することが重要になる。
- ⑨ 相手の石を重くする。(捨てられない状態にする)
相手の石を重くすると、構想や戦略にとって大きな制限となる。相手への制限が厳しいほど、効率のいい地は作れない。
- ⑩ 構想の駆け引き。
戦略では、相手の構想を阻止することが優先される。このためには、相手を動かし相手の手の内を探ることが必要になる。

2 構想の制約一覧

構想を立てるには、囲碁特有の効率法則をもとにした制約条件を満たしながら、状況に応じた戦いの選択が必要になります。

第一の制約 目的達成スピード（効率）が違う。

戦いで、目的達成スピードの違いから3つの制約条件があります。

- ① 逃げる石は、取れない。
- ② 生きようとする石は、殺せない。
- ③ 邪魔されると、地は囲えない。

第二の制約 危険回避の効率

地の増加で得られる利益より、石が取られることで失う損失の方が大きいため、石が取られないように打つ危険回避の価値が優先され、このことから、必然という価値が生まれることになります。

第三の制約 定石の進行になる。

定石の手順は、互いに「生き生きの状態になる」連続した手順になります。また隅や辺側の石は、中央側の石より取られる危険が大きいため、取られないよう三線や二線に這う手が打たれます。

第四の制約 石が取られると地にならない。

地を囲う場合に囲う石が取られると、地にならないため、取られないように打つことが絶対条件になります。

第五の制約 地の囲い合いでは、形勢差は生まれません。

「大公のまね碁」からもわかるように、正方形の碁盤からは、地の囲い合いの戦いだけでは、形勢差は生まれません。

第六の制約 隠れた天元の争いが最大争点になる。

辺や隅の戦いでは、「大公のまね碁」からもわかるように、碁盤が正方形であることから、戦いの結果は互角であり、形勢差は生まれません。形勢差は、中央への石の働きの差で生まれている。

第七の制約 絡み攻めにされると不利になる。

絡み攻めが狙えると、戦いは一気に有利になります。このため、もし切断によって、2つの生きていない弱い石のグループが生まれると、絡み攻めになります。

第八の制約 切断をする手はいつも狙われている。

厚みであっても断点箇所があり、切断されると2つの生きていない弱い石のグループが生まれる危険性があると、この切断を狙う戦いが展開されます。

第九の制約 取られる危険性がいつもある。

盤上に打たれた石は、手抜きすると取られる危険性がいつもあります。

第十の制約 戦いの一時停止と再開

戦いは、ほぼ生きた状態になると、一時停止することになります。中断した戦いは、空間や眼形が乏しくなり「取られる危険性が再増大」することで戦いが再開します。

第十一の制約 戦いは、いつも複数同時進行で、起っている。

全局的な戦いは、四隅の戦いが関連して展開されている。このため、単独の戦いでは、簡単に生きられる場合であっても、複数の戦いが同時進行すると、絡み攻めで生きられなくなることがあります。